



平成29年度センター研修講座予告編

センターでは、新しい学習指導要領や京都府「学校の組織力向上プラン～チーム学校の推進～」に対応した研修講座を実施します。

教科化に対応 (小学校英語、特別の教科 道徳)

新しい学習指導要領を理解し、これからの授業の在り方を考えます。
(外国語教育講座、道徳教育講座)

小学校における プログラミング教育

児童のプログラミング的思考を育む講座を新設します。

カリキュラム・マネジメント

教育課程を軸に、学校教育の改善・充実に取り組むその方法を学ぶ講座を新設します。

子どもの貧困対策

貧困の連鎖を防止し、子どもが、生まれた環境に左右されことなく成長できるための学校の取組を考えます。

最新教育動向

新しい学習指導要領にこめられた日本の教育が目指すポイントや教育課題克服のために力を生み出す方法を学ぶことのできる管理職向けの講座を新設します。

特別支援教育体制の強化

主体的な学びをつくるユニバーサルデザイン授業や通級指導教室のための生活力と社会性をサポートする講座を実施します。

アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングの視点を生かした主体的・対話的で深い学びを実現できます。

学校不適応の未然防止

前思春期を理解した取組を推進するため、小学校3・4年生に視点をあてた教育相談講座を実施します。

セルフマネジメント

多忙化に対応し、生産性の高い仕事を実現するための考え方・方法を学ぶことができます。

お知らせ: 次年度の研修講座については「研修講座の概要」(冊子)を各学校に配付するとともに、「平成29年度研修講座一覧」(リーフレット)を4月に全教職員に配付します。来年度の講座受講の計画に役立ててください。次号で5月実施講座を紹介します。

使ってみよう ICT ～タブレット端末の活用～

タブレット端末の特徴

操作が直感的で、拡大が容易 / 持ち運びが可能 / 様々なアプリが利用可能

教員

拡大提示、動画の提示

- 分かりやすい説明
- 興味・関心を高める

活用場面例

- 児童生徒のノートや作品をカメラ機能で撮影し、大きく映して解説(細かい部分の拡大、書き込み可)
- 実験、実習の手順やポイントを動画に撮影し、授業で活用(くり返し視聴可)

児童生徒

話し合いや発表での活用

- 思考力や表現力の向上
- 教え合いや学び合いの促進(協働学習の充実)

活用場面例

- 実技(演奏など)の様子を児童生徒同士でお互いに動画で撮影し、その場ですぐ確認



お知らせ: 平成29年度も、タブレット端末を活用した演習が体験できる「授業でのICT活用講座Ⅰ、Ⅱ」を実施します。

自身の実践を
語れますか？
自身の言葉で



～2年目教員「ステップアップ」講座から～
2年目教員「ステップアップ3」講座
では、初任期育成研修の集大成として、
一人一人の先生方が、自身の実践につい
て自身の言葉で語る場を設定しました。

自身の実践を自身の言葉で語るこ
とにより整理され、協議することで客
観的に分析することができました。

自身の実践を語る
ステップアップ3

3年目の実践を展望

今年度取り組んだテーマ研修。その
成果と課題を自身の実践に生かすこ
とができるよう、今後を展望しました。

講義・演習により
情報を収集

ステップアップ1

ステップアップ2

- ・1学期の実践の振り返り
- ・2学期の実践への展望



心がけのススメ

～教職員の皆さんへ⑤～

心がけのススメ

1 あいさつについて

明るく元気に、自分から進んでみましょう。

このような時には、このようなあいさつを

初めて会う人に	「はじめまして ○○と申します」
朝	「おはようございます」
日中	「こんにちは」
外出する時	「行ってまいります」
外出から戻った時	「ただいま戻りました」
来校者に対して	「こんにちは（何かお伺いしましょうか）」
部屋に入る時	「失礼します」
相手を待たせた時	「お待たせしました」
お礼を言う時	「ありがとうございました」
謝る時	「申し訳ございません」
退勤する時	「お先に失礼します」
退勤する人に	「お疲れ様でした」

※時としてセキュリティ対策にもなります。

- ・明るく
- ・相手の目を見て
- ・イキイキと
- ・いい表情で

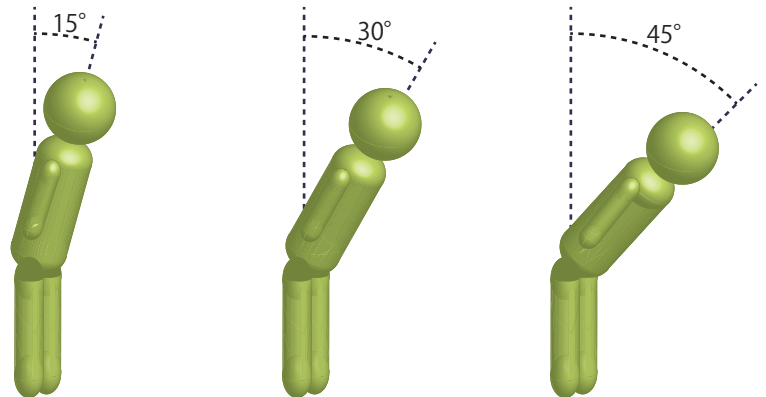
- ・爽やかに
- ・先に
- ・つねに
- ・続けてひと言

児童生徒が社会に出るまでに手本となるのは教職員のマナーです。
あなたの所作を見直すきっかけになるリーフレット「心がけのススメ」から、
今回はあいさつについて、本年度実施の講座内容とあわせて紹介します。

コミュニケーション基礎講座 ービジネスマナーから考えるー

美しいお辞儀とは

- ・会釈
すれ違うとき
人前を横切るとき
- ・敬礼
出迎え・見送り
訪問・謝意
- ・最敬礼
陳謝
深い感謝



- ・腰を基点に上体を倒す。(首から曲げない。)
- ・目線を足元の1～1.5m先に落とす。
- ・上体は、下げるときよりゆっくり戻す。
- ・両手は男性は脇、女性は前で組む。